

菅大平温水ため池(あやめ公園池)

(すげおおだいらおんすいためいけ(あやめこうえんいけ))



全景



立派に育ったアヤメ



ため池を散歩するキツネ

ため池の概要

□ため池の所在地

長野県木曾郡木祖村

□ため池の特徴

標高900~1100mに造られた農業用ため池で、池の畔はアヤメ園として地域内外から親しまれています。

木祖村の稲作は、農業用水の低温障害に悩まされていましたが、昭和48年にこの温水ため池が築造されたことにより、米の生育が良くなり、木祖村の農業振興は大きく発展しました。現在も貴重な農業用水として40haの水田を潤しています。

また、アヤメ園は、地元の人たちが昔から池周辺に自生していたものを、株分けや増殖を行いながら苦労して大事に育てたものです。

キツネなど様々な動物が水辺を中心とした生活しており、生物の多様性も富んでいます。また、ため池には、ブラックバス等の外来魚は存在せず、地元でもコイやワカサギなどの在来魚を守る取り組みを行っています。

関連情報